

見えないだけ

牟礼慶子 むれけいこ

空の上には
もつと青い空が浮かんでいる
波の底には
もつと大きな海が眠っている
胸の奥で
ことばがはぐくんでいる優しい世界
次の垣根で かきね



蕾をさし出している美しい季節 つぼみ

少し遠くて

待ちかねている新しい友だち

あんなに確かに在るものが

まだここからは見えないだけ



牟礼慶子「一九二九—二〇二二」

東京都に生まれた。詩人。

作品に『来歴』『魂の領分』『夢の庭へ』などがある。

《出典》『ことばの冠』によった。